

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築 [簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱日本ウェルネス サービス付き高齢者向	階数	地上4F
建設地	京都府八幡市八幡月夜田3-1,19	構造	S造
用途地域	第一種住居地域・第二種住居地域	平均居住人員	56人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年3月2日
敷地面積	1,245 m ²	作成者	前田 享郎
建築面積	647 m ²	確認日	2015年3月2日
延床面積	2,350 m ²	確認者	前田 享郎



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 22%
 ③上記+②以外の 22%
 ④上記+ 22%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	高齢者に配慮したバリアフリー設計および内部環境に配慮している。
その他	0
Q1 室内環境	・居室の窓を大きくとり、窓からの光を取り入れるようにした。 ・内装材にはF☆☆☆☆を採用。 ・換気扇は十分な換気量となるよう機器選定した。
Q2 サービス性能	高齢者に配慮した設計を行っている。 (バリアフリー法) 住戸面積、天井高等空間にゆとりをもたせるよう配慮した。
Q3 室外環境 (敷地内)	
LR1 エネルギー	太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを利用している。
LR2 資源・マテリアル	・非構造材料にリサイクル材を使用している。 ・躯体と仕上は容易に分別できる。 ・断熱材にはグラスウール (ODP=0) を用い、地球温暖化に配慮している。
LR3 敷地外環境	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される